

# ULTRASEALER

超音波式ポイント溶着器

## 取扱説明書

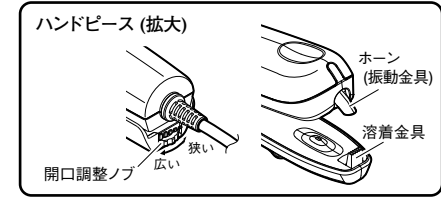
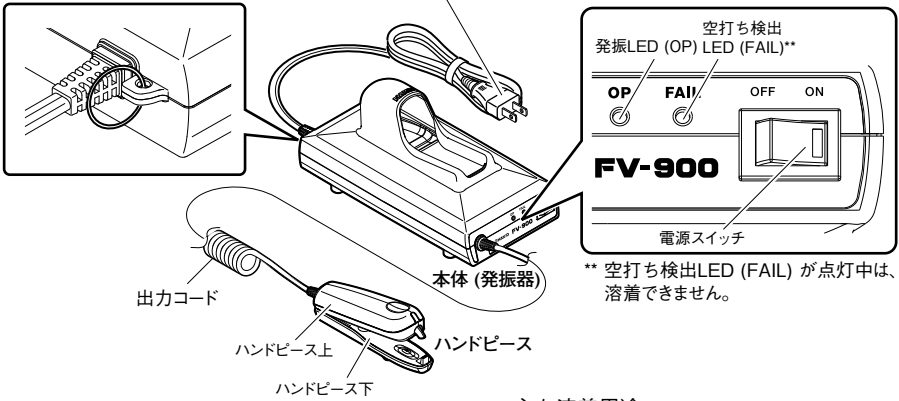
このたびは、**ULTRASEALER**をお買い上げいただきまことにありがとうございます。  
**ULTRASEALER**は超音波振動でプリスターパック等の包装材（主な用途については  
“1. セット内容と各部名称”の「●主な溶着用途」を参照）を溶着させるための製品です。  
この説明書をお読みになり、正しくお使いください。  
また、お読みになった後も、後日お役に立ちますので、大切に保管しておいてください。

### 1. セット内容と各部名称

まず最初にセットの内容をご確認ください。

|                  |   |            |   |
|------------------|---|------------|---|
| ULTRASEALER..... | 1 | 取扱説明書..... | 1 |
|                  |   | 登録書.....   | 1 |

\* 落下防止のため、ひも等を用いて壁面、  
テーブル等に固定してください。



- 主な溶着用途
  - ・食品包装パック
  - ・化学繊維
  - ・不織布
  - ・工業製品包装（プリスターパック、フィルム）
- 溶着部の厚みは1mm未満が適しています。

※本製品はビニール袋等の湿気予防の  
密封用途には適しません。

### 2. 仕様

|      |                  |
|------|------------------|
| 品番   | FV900-01         |
| 発振方式 | 自励発振             |
| 電源   | AC100V 50 / 60Hz |
| 消費電力 | 30W (最大負荷時)      |

#### ●本体 (発振器)

|          |                                          |
|----------|------------------------------------------|
| 外形寸法     | 114 (W) ×102 (H) ×216 (D) mm<br>(突起部含まず) |
| 重量(除コード) | 0.62 kg                                  |
| コード長さ    | 1.4 m                                    |
| 保護装置     | 空打ち防止機能                                  |
| 発振周波数    | 55 kHz                                   |

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、  
あらかじめご了承ください。

#### ●ハンドピース

|          |                                              |
|----------|----------------------------------------------|
| 外形寸法     | 35 (W) ×73 (H) ×129 (D) mm<br>(突起部含まず、最大開口時) |
| 有効溶着範囲   | 6 × 3 mm                                     |
| 重量(除コード) | 190 g                                        |
| コード長さ    | 0.4 m (カール時)                                 |
| 開口長      | 約11～30 mm                                    |

### 3. 安全及び取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解されてから本文をお読みください。

- ⚠警告：誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠注意：誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### ●安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

- ⚠警告
- 本製品を濡らしたり、濡れた手で使用しないでください。
- 本品を改造しないでください。
- 開口部やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れないでください。
- 直射日光が当たるなど高温となる場所では使用しないでください。
- チリやホコリ・腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
- 振動・衝撃の多い場所では使用しないでください。
- 濡れた場所・湿気の多い場所では使用しないでください。
- 管理責任者の許可なく、経験や知識のない者（子供を含む）がこの製品を使用しないように注意してください。
- 子供がこの製品で遊ばないように注意してください。
- 電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格がある人に交換してもらう必要があります。

#### ●故障や事故につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

- ⚠注意
- コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重たい物を載せないでください。
- 本体（発振器）及びハンドピースを倒したり、落したり、強い衝撃を与えないでください。
- 電源プラグの抜き差しはプラグを持って行なってください。
- 使用時以外または、臭いや煙が出る等の異常があった場合は直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 部品交換時には、電源プラグを抜いてください。
- コードだけを持って持ち運ばないでください。
- コードや電源プラグが痛んだり、破損しているときは使用しないでください。
- 使用中はコードを抜かないでください。
- 交流100V (50 / 60Hz) 以外では使用しないでください。
- 使用中や使用直後はホーン（振動金具）に触れないでください。
- 目的以外のものの溶着はしないでください。
- ハンドピースはカー杯握らないでください。
- 交換部品には、純正部品を使用してください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

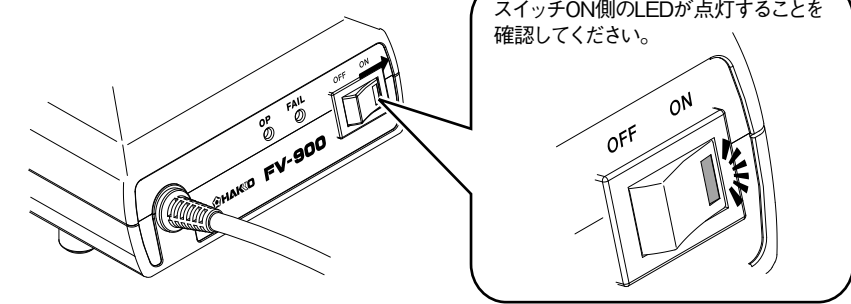
### 4. 使用方法

#### 本機の特徴

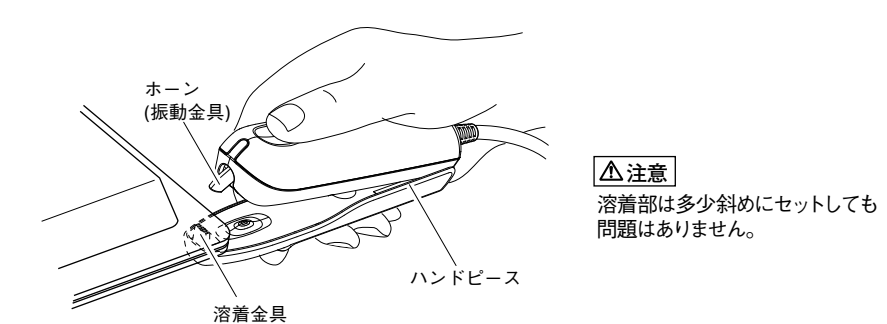
- コンパクト ハンドピースを本体（発振器）に収納でき、省スペースでの設置が可能。
- すぐに使用 予熱の必要がないので、電源を入れたらすぐに使用できます。
- 簡単溶着 ハンドピースを軽く握るだけ、力を入れる必要はありません。
- 経済的 ハンドピースを握る時だけ動作し、無駄な電気を消費しません。

#### 1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

#### 2. 本体（発振器）の電源スイッチを入れます。

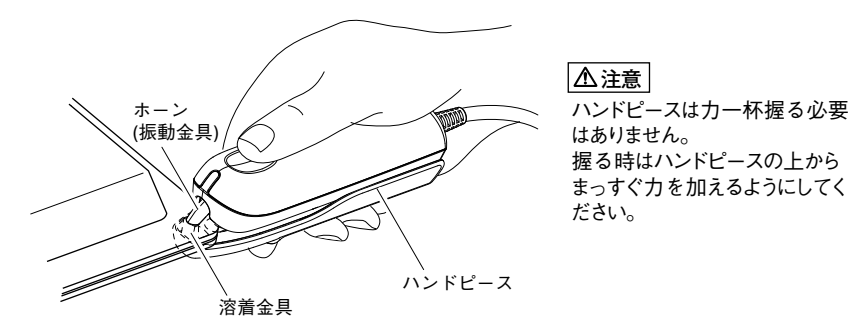


#### 3. ハンドピースを手を持ち、包装材の溶着部をハンドピースの口元のホーン（振動金具）と溶着金具の間に入れてください。

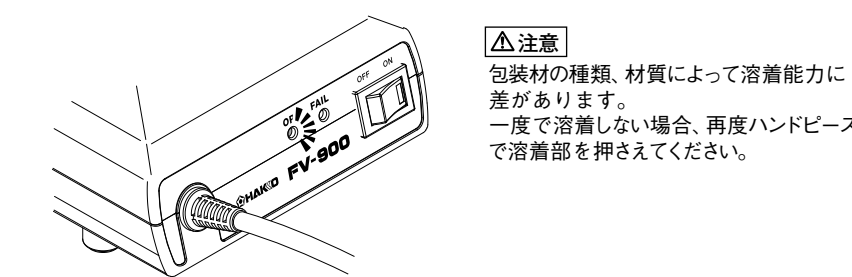


### 4. 使用方法

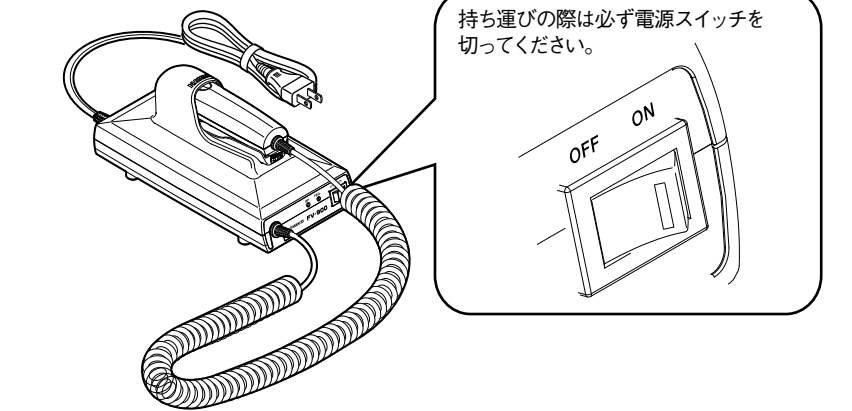
#### 4. ハンドピースを握り、ハンドピース上・下を押さえます。



#### 5. 溶着時は本体（発振器）の発振LED（OP）が緑色に点灯します。発振LED（OP）が消えたら（タイマーは約5秒です）溶着完了です。押さえを緩めてください。



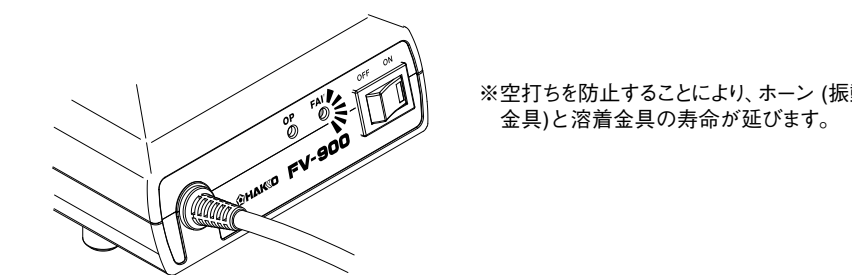
#### 6. 使用しない時や持ち運ぶ時は、ハンドピースを本体（発振器）上部に正しい方向で収納してください。



### 5. 機能

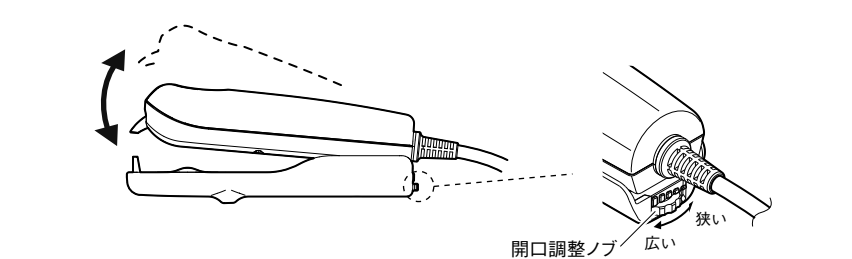
#### ●空打ち防止機能

**ULTRASEALER**には空打ち防止機能がついています。  
ホーン（振動金具）と溶着金具が接した時（空打ち時）、空打ち検出LED（FAIL）が点灯し、溶着の動作を止めます。



#### ●開口調整機能

ハンドピースには開口調整ノブがついています。  
開口調整ノブでハンドピースの開口部を広げたり、狭めたりします。作業環境に合わせて調節することで効率良く作業を行うことができます。



6. メンテナンス

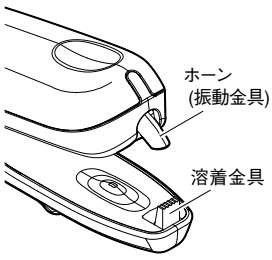
⚠注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。
- 清掃の際は、ベンジン、シンナー等で拭かないでください。また殺虫剤、整髪用、掃除用等のスプレーをかけないでください。樹脂や塗装部が変質したり、破損する恐れがあります。

ホーン (振動金具) 先端や溶着金具は、こまめに清掃を行なってください。

● 清掃方法

アルコールを浸した布や綿棒・ブラシなどでホーン（振動金具）や溶着金具などを拭いてください。



ホーン  
(振動金具)

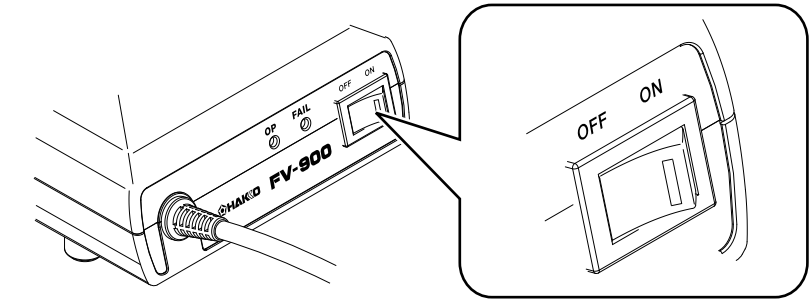
溶着金具

⚠注意

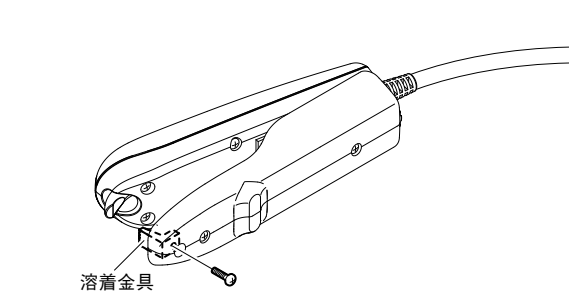
- ハンドピース先端に異物が付着していると、発振不良になる場合があります、溶着不良の原因になります。
- 本体 (発振器) およびハンドピースは絶対に丸洗いたないでください。

● 溶着金具の交換

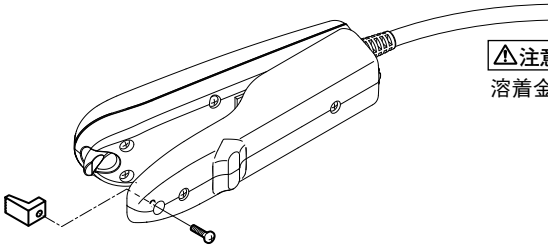
1. 電源が切れていることを確認します。



2. ハンドピースの溶着金具取り付け部裏面のねじをドライバーではずし、溶着金具を取りはずします。



3. 交換する溶着金具を、ねじ穴が重なるようにハンドピースに合わせ、ドライバーでねじを締めつけます。

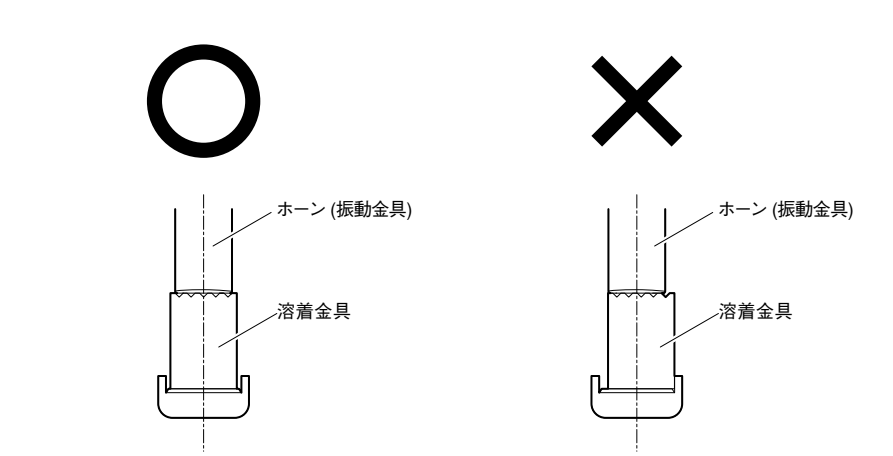


溶着金具

⚠注意

溶着金具は、まっすぐ取り付けてください。

※溶着金具を交換後、ねじがしっかりと締まっていることを確認してください。  
また、取り付け後にハンドピースを握って、ホーン（振動金具）と溶着金具の噛み合わせが正常にできているか、確認してください。



⚠注意

ねじが緩んでいると溶着金具がずれ、ホーン (振動金具)と溶着金具が噛み合わず、正常に溶着できなくなる恐れがあります。

7. トラブル発生時に

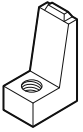
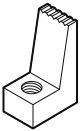
⚠注意

必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。  
差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

万一、本機の調子が悪いとき、修理を依頼される前にもう一度、次の点をお確かめください。

| 症 状                                | 原 因                                                                                                                  | 対 策                                                                                                                     |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電源が入らない。<br>(電源スイッチのLED<br>が点灯しない) | 電源コードがコンセントに接続されていますか。<br>本体 (発振器) が熱を持っていますか。                                                                       | 電源コードをコンセントに接続してください。<br>本体 (発振器) の加熱保護が働いていることが考えられます。電源を切っ<br>てしばらく放置してから、再度電源<br>を入れてください。                           |
| ハンドピースを握って<br>も発振しない。              | 電源スイッチが入っていますか。<br>空打ちしていませんか。{空打ちLED<br>(FAIL) が点灯していませんか。}                                                         | 電源スイッチを入れてください。<br>溶着物を挟んで握ってください。                                                                                      |
| 溶着できない。                            | 溶着タイマーが終了する前にハンド<br>ピースの握りを離していませんか。<br>溶着金具やハンドピース先端に異物<br>が付いていませんか。<br>溶着金具の取り付けが緩んでいま<br>せんか。<br>溶着金具が破損していませんか。 | 発振LED (OP) が消えるまでハンド<br>ピースを握り続けてください。<br>溶着金具の交換・締め付けや清掃を<br>行なってください。<br>溶着金具をしっかりと取り付けてく<br>ださい。<br>溶着金具の交換を行ってください。 |
| ハンドピースが発熱し<br>た。                   | 長時間、休みなく動作させていま<br>せんか。                                                                                              | いったん電源を切り、ハンドピースが<br>冷めるのを待ってからご使用くだ<br>さい。                                                                             |

8. 部品リスト



● 溶着金具

| 品番    | 部品名  | 仕様 |
|-------|------|----|
| A1608 | 溶着金具 |    |

● オプション

| 品番    | 部品名   | 仕様           |
|-------|-------|--------------|
| A1609 | 溶着金具* | かんごうバック開封確認用 |

\* この金具を使用して溶着すると、開封時に開封済みとなったことが確認できます。また、より小さい部位の溶着に適しています。